

神港学園報

2020
February
第82号



第72回生
卒業おめでとう

Contents

| | |
|--------------------------------------|--|
| 逃げない P1 理事長 植村 武雄 | ご卒業おめでとうございます P3 生徒会 会長 吉岡 秀成 |
| 卒業に向けて P1 校長 中野 憲二 | 育友会の主な活動・マラソン大会 P4 |
| イメージに向かって P2 育友会 会長 柳田 一心 | 本年度の進路状況について P5 |
| 未来に向かって P2 金星会 会長 米津 康男 | 第1・2学年進路ガイダンス P6 |
| 「高校卒業」に向けて P3 第3学年主任 坂東 敬一郎 | 各賞の受賞者(卒業生) P7-8 |
| | 活躍する各クラブ P9-10 |
| | 税の作文 P11 |
| | 「税金が生活を支えている」 1年3組 堀 光雅 |
| | 「税金で助けられる命」 1年8組 林崎 美月 |



発行人 学校法人 神港学園

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目19番20号 TEL.(078)241-3135 FAX.(078)232-1570
<http://www.shinko.ed.jp> E-mail. info@shinko.ed.jp

逃げない

◀◀ Message



理事長

植村 武雄

第72回生の諸君、ご卒業おめでとう。

保護者の皆様、おめでとうございます。

理事会を代表して、心からのお祝いを申し上げます。

卒業生の諸君には、これからの人生それぞれに、本学園とともに学び、語り合い、行動する中で身につけられた「進取/チャレンジ精神」と「錬磨/強固な意志と実践力」そして「礼節/人間関係の礎」を忘れず、さらに磨き上げてほしいと願って止みません。いよいよ、本格的に人生への旅立ちです。これまでの「教わる」から「調べて学ぶ」へ、そして他者に「教える」立場へと人間としての成長の階段を一步一步踏みしめながら登って行ってほしいと思います。また、皆さんを取り巻く環境は大きく拡大します。これからの皆さんは、他人を観る眼を磨き、知人を増やし、未知のフィールドで、自ら考え、自ら行動し、自身のかけがえのない人生を切り開いていかれるわけです。引きこもらずオープンに明るく社会と接し、より一層強固な自分づくりに励んでください。

卒業生の諸君は、それぞれの進路で与えられた責任を果たすため、まずは自身の研鑽に集中していただきたいと思います。その上で、従来以上に政治、経済、社会の動向に関心を深め、コミュニティ活動にも貴重な時間を

精一杯割いてください。いずれにせよ、高校生活から巣立っていく諸君には、弱気になるな、信じることをブレずにやり抜け、そんな激励を申し上げたいと思います。そこで、諸君のご卒業に際して、「逃げない」という言葉をお贈りします。背筋を伸ばし胸を張ってまっすぐに歩んでください。

これからは、自ら学び考え、行動するという主体性を発揮しましょう。教わっていないからわかりませんという言い訳は、これからは通用しません。単に逃げていると思われるだけです。わからなければ、自らよく調べ考えること、そして、積極的に他者の意見に耳を傾けることです。諸先輩や家族、そして何よりも本学園で友情を育んだ友人たちの考えを聴いて判断することです。私が「逃げない」というのは、このような意味で申し上げているのです。また、大きな困難、嵐に直面したとき、岩陰に身をひそめて耐え忍ぶことも「逃げない」ということです。現実から目を逸らさない勇気も「逃げない」ということです。

私は、皆さんには、この「逃げない」という言葉をキーワードとして、強い人間になってほしい。人間力を身につけてほしい。自分のためだけでなく、世のため人のため、かけがえのない、存在感のある自立した社会人になってください。

卒業に向けて

◀◀ Message



校長

中野 憲二

72回生の皆さん、神港学園高校の生活はいかがだったでしょうか。満足している人もいれば、部活動の結果などで悔しい思いをした人もいると思います。

でも、明日からは、それぞれの進路先で新たな夢の実現に向け、皆さん一人一人の新しい歩みが始まります。しかしながら、夢の実現はそうたやすくはありません。

これから皆さんが生きていく社会はますます変化の激しい時代になっていきます。

ニューヨーク市立大学大学院のキャシー・デビッドソン教授はこう言っています。「子どもたちの65%は大学卒業後、今は存在していない職業に就く」

また、オックスフォード大学のマイケル・A・オズボーン准教授は「今後10~20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い」と言います。

すでにIoT、Internet of Thingsや、車の自動運転技術の開発等が進んでいます。人工知能が人間の知能を超えと言われる技術的特異点は、2045年とも2029年ともいわれています。

しかし、今後、どのような社会になろうとも夢と志を持ってたくましく生きてほしいと思います。

「己こそ己の寄るべ」ということばがあります。「己をおきて誰に寄るよるべぞ、良く整えし己こそ、まこと得がたき寄るべなり」と続きます。自分以外に誰に頼るのか。しっかりした自分こそが本当に頼りになる、そのためには、頼りがいのある自己を確立しなければならない、という意味です。

大切なことは、自分の生き方を決めていくのは自分、自分の人生を切り開いていくのも自分です。そして、自分の人生に責任を持つのも自分です。最後は自分自身の問題ということです。

皆さんにはこれから様々な試練が待ち受けています。苦しみや悲しみ、悩みや迷い、また失敗や挫折を経験していくことと思います。でも、それらは自分を成長させてくれる肥やしでもあります。逆境に挫けず、何事も前向きにとらえ果敢に挑戦し続けてください。

イメージに向かって

◀◀ Message



育友会 会長
柳田 一心

神港学園72回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さん、あっという間の3年間だったと思いますが、高校生活はいかがでしたか?楽しかったり、苦しかったり、時には悲しかったこともあったと思います。この3年間は、子供から大人への移り変わりの大切な時期であり、いろんな思いが芽生えたことと思います。自分の将来について考える時期でもあり、皆さんは今、人生の岐路に立っています。目標を持っている人、まだ迷っている人、まだ決まっていない人、いろいろな人がいると思いますが、生きている以上、時がたてば皆さんも大人になり、自力で生活をしていくこととなります。「将来の夢というものを強く持って実現に向かって頑張ってください」というのは少し重いですね。まずは、自分がどうい大人になりたいのかイメージしてみましょう。そして、少しでもそのイメージに向かって生きてみてください。常に頭の中の片隅にイメージを置いておくこと。これから皆さんは、たくさん問題にぶつかり、取り巻くたくさんの人たちに支えられ、いろんな刺激をもらいます。その中でイメージは膨らみ、より現実的なものになっていくことと思います。もちろん、最初のイメージとは大きくかけ離れ変化することもあるでしょう。でも、自分の頭の中で大切に育

てきたイメージは、皆さんにとってきっと良い結果をもたらすことと信じています。神港学園の卒業生はみんな自分を大切にでき、他人を大切にできる人だからです。皆さんの可能性は無限大で、たくさんのイメージを作ることができるので道は一つではありません。神港学園で学んだ3年間で、きっと皆さんの人生の味方になってくれます。自分を信じて、まずは一歩踏み出してください。

皆さんの今後の人生が素晴らしいものでありますよう心からお祈りしています。

未来に向かって

◀◀ Message



金星会(同窓会) 会長
米津 康男

希望と不安を持って入学しましたが、あっという間に月日がたち、卒業式を迎えます。

高校生活の中で、多くの先生、生徒と出会ったことでしょう。そして、出会った先生、生徒の様々な違った考え方、生き方に接したことと思います。また、部活動で、他校との試合などを通して様々なやり方、戦い方を見てきたことでしょう。見事なやり方、戦い方を見て、感動し、共鳴したこともあったかと思えます。そして、そのやり方、戦い方を取り入れ、自分のものとし、さらに、その上に新しい独自の技術をつくりあげ、明日からの生活に生かしていければ、と思うようなことがあれば、すばらしいことです。一人で孤独でいては、すばらしいことは発見できません。人との交流の中で、新しいものを見つけ、今までの自分を反省することができるものです。まさに多様性の中で、人は揉まれ、磨かれ、成長していきます。楽しい幸せな時ばかりではありません。辛い苦しい時もあります。人生では、辛い苦しい時の方が多いと思います。その中で、少しでも嬉しいことがあれば、また気持ちを持ち直し、前へ進んでいく原動力となることがあります。辛いこと、苦しい試練を乗り越える度に人間の幅、度量が大きくなっていきます。また、人生の「街はずれ」の中で孤独に陥り、苦しんでいる友がいれば、側について声をかけてください。励ましてください。人の温かさ、ぬくもりに触れると、心が新たになり、勇気が生まれるものです。世の中

は、目まぐるしく動き、科学技術の発展が続いています。どのような発展があっても、大切なことは、人が中心にいなければなりません。人を大切に、人と共に未来に向かって歩いて行ってください。人と共に生きていく中で人に頼ったり、すがったりする前に、自分でできることはすべてやってください。難しい問題に突き当たり、あれがなければ、この条件が満たされていなければできない、と言わないで、与えられた環境の中で自分のできる最善を尽くしてください。打てる手は打った後、やり残しはないか見直してください。すべてを尽くしても、失敗や過ちは起こりません。その失敗や過ちは次の歩みへの糧となります。

皆さんのこれからの人生、健闘を心からお祈りいたします。

「高校卒業」に向けて

◀◀ Message



第3学年 主任

坂東 敬一郎

第72回生259名の諸君、卒業の時を迎えました。大学、短期大学へは157名が、44名の者が専門学校へ、公務員、プロスポーツを含めて58名の者が就職の道へ進みます。さらに、3月末まで30数名の者が併願受験に挑戦し続けます。

「高校卒業」は、とりあえず一つの大きな区切りとなりますが、良くも悪くも、3年分の「経験値」を重ねて、厚みを増したと考えてください。

入学以来、少しでも早い時期にこれまでの自分のマイナス要素をリセットして、その日から先を見据えて自力を蓄えることが大切だと伝えてきました。妙なプライドが邪魔をして素直に短所を修正できなかった者もいたと思います。次のステージもすぐそこまで迫ってきていて、「卒業」の感傷に浸る間もあまりないので、くれぐれも中途半端な達成感や、大袈裟な敗北感で、自分がずっと抱いている目標をごまかしたりねじ曲げたりしないように、この数ヶ月こそ、陣形を整えてください。

冒頭に紹介した進路先が示すように、君たちの進む分野は多岐に及んでいます。求められる適性は異なるかもしれませんが、それぞれの選んだ道で「エゲツない」才能を発揮するライバルが悠然と待ち構えていて、君たちのささやかな自信を打ち砕きます。ポロポロになりながらも、メグズに、その境遇にかじりついていると、想像もしなかった「エゲツない」底力が今度は自分に備わります。

合格通知を手にした君たちの緩みきった笑顔はこの上なくシアワセそうですが、行く先が思うようには定まらず、真剣に粘りを見せる君たちの表情こそ、シブくてカッコいい、何もかもこれからだ!

ご卒業おめでとうございます

◀◀ Message



生徒会 会長

吉岡 秀成

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

先輩方の神港学園での3年間はどのような学園生活でしたか。将来の目標に向かって歩いた3年間はとても長く感じましたか、それとも、とても短く感じましたか。日々の学園生活・クラブ活動・各行事でたくさんの思い出と「友」ができたと思います。生涯の「友」として大切にしてください。

入学当初は、どんな先輩がいるのか、どんな学園生活が始まるのかなど、いろいろなことに興味はあったものの、不安の方が強くて緊張の連続でしたが、対面式での先輩方の新入生への優しい呼びかけで不安な気持ちが薄れていったことを思い出します。先輩方の姿は、私にとってとても凛々しく、私の心には憧れの気持ちが芽生えました。私たち後輩は、先輩方から教えていただいた神港学園の良き伝統を伝えていけるように頑張りますので、卒業後も時々母校に顔を出して、また私たち後輩の指導をしてください。そして、先輩たちの経験したこともたくさん教えてください。

これからは、それぞれの進路先で楽しいことばかりではなく困難なこともあると思いますが、神港学園で学んだことを活かして活躍されることを願っています。今まで本当にありがとうございました。

育友会の主な活動

令和 元年度

育友会総会(5月18日)

平成30年度事業報告、決算報告
令和元年度事業計画案、予算案提出
新役員選出、学級委員承認

文化祭に向けての教養委員会(6月8日)

おふくろ庵メニュー(焼肉丼)試食会、ポスター等作成作業

文化祭前日準備(6月21日)

調理器具準備・模擬店設営他

文化祭(6月22日)

おふくろ庵(焼肉丼)、物品販売(ミニフラッグ、マフラー
タオル)

文化祭反省会(7月6日)

体育大会参加(9月27日)

生徒へのドリンク配布他

親睦旅行(10月19日)

三重/伊勢方面(伊勢神宮参拝・おかげ横丁散策)

生徒指導合同懇談会(12月7日)

本校の生徒指導について
学年別意見交換

学級委員懇親会(12月7日)

学級委員との情報交換



令和元年度 マラソン大会順位

第1学年

- 1位 黒葛野 瑞希(4組)
- 2位 東原 知輝(7組)
- 3位 早田 璃彪(1組)



第2学年

- 1位 濱崎 裕人(2組)
- 2位 櫻井 清剛(1組)
- 3位 毛利 昂太(1組)



女子の部

- 1位 白井かすみ(2年6組)
- 2位 向谷 楓香(1年1組)
- 3位 足立 真理沙(1年1組)



進路決定に向けて

進路指導部より

令和元年度の卒業予定者は259名です。そのうち約8割の生徒がすでに進路を決めています。

進学では、指定校推薦やAO入試など学科試験を課さない入試を利用する生徒の数が半数おります。自分の学力を把握して、早い段階から自分の特長を自覚して第1志望校をしっかりと決めて、進路決定に臨もうとする姿勢の表れたと分析しています。中でも普段から授業を大切に力をつけて、推薦入試に挑戦し、みごと第1志望校に合格した生徒がいました。しかし、文部科学省の指導で大学の定員の厳格化が言われています。従来のように合格者を多く出さない傾向がますます強くなっています。それを受けて、生徒たちの動き出しが早くなっています。また、来年から大学入試が変わると言われています。そのため、受験生の安全志向が強くなっています。

「行ける大学より行きたい大学へ」という進路指導の目標を掲げています。1年生から2年生にかけて実施する模試の結果から、自分の学力が目標とどれだけ開きがあるのかを確認しながら、2年間でその差を縮めることが進路実現には求められます。自分の学力に目標を合わせるのではなく、目標に自分の学力を近づける努力をしましょう。「現役は最後の最後まで学力が伸びる」と言います。センター試験や一般入試にチャレンジしようとする生徒諸君をしっかりサポートします。

就職状況については、求人数は今年もわずかながら増加傾向にありました。しかし、増加している求人の中には業種・職種の違いやミスマッチ等の状況がみられ、即内定につながらないケースもあり、難関企業については高倍率となり厳しい戦いを強いられた生徒もいました。そんな状況の中、仕事をする上で必要となる「筆記試験での学習能力」はもちろんのこと、人間力を求める「面接試験での対応力」「適性検査での仕事力」など、企業が求める人材かどうかを見極めた上で内定が決まるという特徴は昨年度と同じでした。本校でも早い時期から指導を開始し、学校推薦での就職希望者については、就職問題集での家庭学習や難関企業においては、先輩たちが残してくれた報告書をもとに筆記と面接試験の傾向と対策をしっかりと行うことにより、多数の内定者を出すことができました。そして11月までには、学校推薦の生徒全員の内定をいただくことができました。また、公務員、縁故就職でまだ未決定の生徒たちもあきらめず就職活動を継続しています。来年度は進路指導部としてはここ数年の経験や社会状況をふまえ、就職に対して取り組む姿勢のあり方や各企業の職種ごとの受験対策など、内定獲得に向けてきめ細かな指導を心がけていきたいと考えています。

令和元年度の進路状況(合格者実数)

令和2年1月31日現在

| 4年制大学 | 短期大学 | 専門学校 | 就職 |
|-------|------|------|-----|
| 134名 | 5名 | 27名 | 51名 |



第1・2学年／大学・企業など訪問

絶対合格できるようがんばります！

11月6日(水)に第2学年全員と第1学年の進学・特進コースは、7台の大型バスに分乗して、14カ所の大阪や兵庫の大学・専門学校・企業を訪問し、見学させていただきました。兵庫県立大学・甲南大学は現地集合で訪問しました。以下の大学・企業の他に、神戸電子専門学校・トヨタ神戸自動車大学校・大原簿記専門学校・関西健康科学専門学校・神戸動物植物環境専門学校・神戸ベルエール美容専門学校を訪問しました。憧れの大学等を訪問して、改めて進路への決意を固めました。

兵庫県立大学

兵庫県立大学学園都市キャンパスでは、学部紹介と「ブランディング」について模擬講義を受けてきました。旧の神戸商科大学時代と比べて、キャンパス内はグローバル化が進み、学部も「国際商経学部」、「社会情報科学部」として生まれ変わり、国際交流が盛んに行われていました。神港生も1日大学生として、熱心に講義を聴いてキャンパスにどっぷりとつかり、活気あふれる学生食堂も体験し、大満足でした。



関西学院大学

130年前の創立の時から使われている校舎を中心とした、広くて落ち着いたキャンパスがとても印象的でした。対外的な広報活動をしているというサークル「KGCLUB」の学生から、大学生活全般の話を聞いた後、3つのグループに分かれてキャンパス内を見学しました。現役の学生から直に説明を受けたので、生徒たちは親近感を持ってたのではないかと思います。



近畿大学

受験者数日本一を誇る近畿大学では、グローバル化に対応するために英語村を設けたり、キャッシュレス化に則して食堂では電子マネーでの支払いができるなど、時代の最先端を進んでいる大学であるということを感じました。図書館や情報処理教室などはスケールが桁違いで、「ここで学びたい」という意欲がかき立てられる1日となりました。



関西大学

創立130周年を迎える関西大学。13学部・16研究科を構え、様々な分野で活躍する著名人も多く輩出している大学では、いろいろな観点から説明を受けました。説明会終了後は広い校内に案内していただいたり、豊富なメニューをそろえる学食で昼食を取ったりと、普段は体験できない体験をさせていただきました。フィギュアスケートをはじめ、様々な部活動も盛んで、文武両道も目指せる環境が整っています。



甲南大学

甲南大学では、大講義室で説明を受けました。人文・自然・社会の3分野を備えた「ミディアムサイズの総合大学」として教員一人あたりの在学生数が少なく手厚い指導ができる大学です。また地元企業でも卒業生が多く活躍され、高い実績を誇るキャリア支援がなされています。説明の後、施設見学をし、新しい設備に圧倒されました。今後、本校から多くの生徒が目標にし、進学したい大学です。



大阪経済大学

大阪市内に主要なキャンパスを置く都市型大学で、経済・経営・情報社会・人間科学の4学部を持つ大学です。ゼミナールに力を入れており、ゼミ対抗のプレゼン力を競うイベントが行われています。校舎が新しくなり、女子学生も増加しています。



神戸電子専門学校

トヨタのCMでおなじみの専門学校で、ITや電子工学などのエンジニア系だけでなく、ゲームソフトやサウンドといったエンターテインメント分野から、グラフィック、建築CAD、工業デザインといったデザイン分野にわたり、15学科を擁する総合学園です。当日は、概要説明の後、施設の案内をしていただき、学生たちの真剣な雰囲気を感じました。その後、VR体験をさせていただきました。楽しい時間を過ごしました。



明石機械工業株式会社

まず、工場内に入っただけの第一印象は【明るくきれいな環境である】ことでした。行き届いた清掃の裏で、自動車に欠かせない部品をそれぞれの部署で造られていました。ミスの許されない社会の現実を目の当たりにした生徒には、今後の進路実現に向けて、真剣に考えて、行動できるようにしていくことを期待しています。



表彰を受ける者

各賞を受賞する者および代表者

| | | |
|--------------------|----|--------|
| 卒業証書授与総代 | 1組 | 小田 皐生 |
| 卒業記念品目録贈呈者 | 5組 | 木下 慶一郎 |
| 日本私立中学高等学校連合会賞受賞者 | 8組 | 戸津川 輝 |
| 兵庫県私立中学高等学校連合会賞受賞者 | 7組 | 芝 晴太郎 |
| 皆勤賞受賞代表者 | 3組 | 小滝 大貴 |
| 精勤賞受賞代表者 | 4組 | 波多野 聖 |
| クラブ功労賞受賞代表者 | 1組 | 東畑 憲典 |
| 金星会賞受賞者 | 1組 | 高木 美空 |
| 金星会特別賞 | 8組 | 木村 公亮 |
| 育友会賞受賞者 | 2組 | 濱野 雅希 |
| | 6組 | 白玖 侑也 |
| 答辞 | 1組 | 木庭 夢菜 |

皆勤賞を受賞する者(24名)

- 1組 小田 皐生、近藤 啓太、富里 泰星、羽坂 晃、藤田 颯、
湖辺 将大
- 2組 石田 涼次、小西 大輝、野村 泰誠
- 3組 大西 慶岳、小滝 大貴、砂田 悠生、福島 悠貴、
松榮 竜太、水井 廉士
- 4組 大原 理紀、永瀬 晃一
- 5組 桑本 悠史、田村 一真
- 6組 駒田 智也、勢口 哲平、中川 裕一郎、前谷 勝太
- 7組 松下 寧真

精勤賞を受賞する者(74名)

- 1組 植田 慧太、梅田 秀斗、萩野 匠、樫本 真央、黒石 敏希、
河野 春輝、竹内 莉子、谷川 勇太、中島 大陽、面山 賢吾、
東畑 憲典、平石 翔太、前田 航多、牧 仁太
- 2組 桶本 慈恩、小椋 玲、鶴川 龍一、馬場 真大、矢野 翔太、
山崎 大夢、山根 巧大
- 3組 小野 響生、坂井 颯、坂口 龍太郎、城野 悠雅、竹原 光毅、
出口 朋尚、日置 侑真、横野 敬介、保岡 裕貴、柳 侑成
- 4組 杉本 仁、谷川 裕登、富永 康太、西本 光志、波多野 聖、
早川 駆流、藤原 優大、水口 凌、安岡 玄貴、山口 伊織、
吉田 遊吏
- 5組 川崎 雄太、神吉 達弥、喜多 奏人、木下 慶一郎、
上月 聖也、徳田 賢、藤原 一晃、三宅 凌、本邑 拓登、
矢野 優人、山本 尊哉
- 6組 太田垣 亮太、鎌田 師羽、小東 七海、面代 大智、
森田 光一、和田 涼聖
- 7組 芝 晴太郎、杉尾 蒼大、中尾 祐貴、中島 拓己、鳴瀬 湧也、
長谷川 瑞樹
- 8組 荒堀 斗真、稲垣 智大、貴島 曹仁、木村 公亮、栗原 鉄生、
仙波 柊也、谷本 凌太、中澤 達也、藤重 冴翠

クラブ功労賞および功績

硬式野球部(4名)

平成29年度秋季近畿地区高等学校野球大会
出場
1組 河野 春輝・面山 賢吾・羽地 直喜
矢野 侑

軟式野球部(11名)

2019年度春季兵庫県高等学校軟式野球大会
優勝
2019年度春季近畿地区高等学校軟式野球大会
ベスト4
2組 山根 巧大
4組 長谷 尚哉・水口 凌・森 峻輔
5組 上治 拓真・岡島 岳良・上月 聖也
6組 堀井 一樹・吉田 律摩・和田 涼聖
7組 伊庭 大智

柔道部(2名)

第60回近畿高等学校柔道新人大会
男子団体出場
1組 大國 竜馬
樫本 真央

剣道部(3名)

平成29年度第55回近畿高等学校剣道大会
ベスト16
平成30年度第56回近畿高等学校剣道大会
令和元年度第57回近畿高等学校剣道大会
出場
平成30年度第65回兵庫県高等学校新人剣道大会
令和元年度第63回兵庫県高等学校総合体育大会
優秀選手賞
1組 有村 恋
平成29年度第55回近畿高等学校剣道大会
ベスト16
平成30年度第56回近畿高等学校剣道大会
令和元年度第57回近畿高等学校剣道大会
出場
1組 木庭 夢菜
平成29年度第55回近畿高等学校剣道大会
ベスト16
平成30年度第56回近畿高等学校剣道大会
出場
1組 竹内 莉子

空手道部(5名)

第38回全国高等学校空手道選抜大会
男子個人形 第3位

第38回全国高等学校空手道選抜大会
男子団体形 第5位

KARATE1プレミアリーグ世界大会TOKYO2018
男子団体形 第5位

第45回全国高等学校空手道選手権大会(岐阜インターハイ)
男子個人形 ベスト16

第46回全国高等学校空手道選手権大会(沖縄インターハイ)
男子個人形 出場

第38回近畿高等学校空手道大会
男子団体形 第2位
男子個人形 第3位

第38回近畿高等学校空手道大会
男子個人組手(-68kg級) ベスト16

第38回近畿高等学校空手道大会
男子団体組手 出場

平成30年度・令和元年度兵庫県高等学校空手道大会
男子団体形 優勝(2連覇)

平成29年度・30年度兵庫県高等学校空手道新人大会
男子団体形 優勝(2連覇)

平成31年度兵庫県空手道選手権大会
少年男子形 優勝
1組 東畑 憲典

第38回全国高等学校空手道選抜大会
男子団体形 第5位

第38回全国高等学校空手道選抜大会
男子個人形 出場

KARATE1プレミアリーグ世界大会TOKYO2018
男子団体形 第5位

第38回近畿高等学校空手道大会
男子団体形 第2位

第38回近畿高等学校空手道大会
男子団体組手 出場

平成30年度・令和元年度兵庫県高等学校空手道大会
男子団体形 優勝(2連覇)

平成29年度・30年度兵庫県高等学校空手道新人大会
男子団体形 優勝(2連覇)

平成30年度兵庫県空手道選手権大会
少年男子形 優勝
1組 近藤 啓太

第38回全国高等学校空手道選抜大会
男子団体形 第5位

第38回近畿高等学校空手道大会
男子団体形 第2位

KARATE1プレミアリーグ世界大会TOKYO2019
男子団体形 出場

平成30年度・令和元年度兵庫県高等学校空手道大会
男子団体形 優勝(2連覇)

平成29年度・30年度兵庫県高等学校空手道新人大会
男子団体形 優勝(2連覇)
8組 平井 孝法

第38回近畿高等学校空手道大会
男子団体組手 出場
6組 中村 響生
7組 西濱 慶一郎

陸上競技部(6名)

第70回近畿高等学校駅伝競走大会出場
6組 白玖 侑也
7組 江田 健人・大崎 聖太郎・城戸口 俊希
柳生 大輝
8組 戸津川 輝

バレーボール部(1名)

第74回いきいき茨城ゆめ国体 ビーチバレーボール種目
第9位
1組 牧 仁太

ゴルフ部(2名)

IMGAs世界ジュニア選手権フロリダチャレンジ
出場

平成29年度全国高等学校ゴルフ選手権春季大会
女子の部 出場
1組 高木 美空

2018年度(第24回)日本ジュニアゴルフ選手権競技
女子15歳~17歳の部 出場
1組 橋本 穂乃佳

射撃部(3名)

令和元年度兵庫県高等学校総合体育大会ライフル射撃競技
チームライフル少年男子 優勝

令和元年度近畿高等学校春季ライフル射撃選手権大会
チームライフル少年男子 優勝

令和元年度近畿高等学校春季ライフル射撃選手権大会
エアライフル少年男子 第2位

第57回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
チームライフル少年男子 第18位

第74回国民体育大会近畿ブロック大会ライフル射撃競技
エアライフル少年男子 第3位

第74回国民体育大会ライフル射撃競技
エアライフル少年男子 第21位
5組 本邑 拓登

令和元年度兵庫県高等学校総合体育大会ライフル射撃競技
チームライフル少年男子 第3位

令和元年度近畿高等学校春季ライフル射撃選手権大会
チームライフル少年男子 第8位

第57回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
チームライフル少年男子 第37位
6組 中川 裕一郎

令和元年度兵庫県高等学校総合体育大会ライフル射撃競技
チームライフル少年男子 第9位

令和元年度近畿高等学校春季ライフル射撃選手権大会
チームライフル少年男子 第21位
6組 小東 七海

活躍する各クラブ

硬式野球部

第101回全国高等学校野球選手権兵庫県大会 ベスト32
令和元年度秋季神戸地区大会 第2位
令和元年度秋季兵庫県高等学校野球大会 ベスト16

軟式野球部

2019年度春季兵庫県高等学校軟式野球大会 優勝
2019年度春季近畿地区高等学校軟式野球大会 ベスト4
第64回全国高等学校軟式野球選手権兵庫大会 ベスト4
2019年度秋季兵庫県高等学校軟式野球大会 ベスト8

柔道部

第63回兵庫県高等学校総合体育大会柔道競技
男子団体戦 5位/女子団体戦 5位
女子70kg級 第3位 岡本 優空
第68回兵庫県高等学校新人柔道大会
男子団体戦 3位/女子団体戦 5位
男子60kg級 第2位 藤本 昂気
第5位 中務 慎巴
73kg級 第5位 大搦 弘晟
81kg級 第2位 小西 雄大
100kg級 第2位 庵奥 敬也
100kg超級 第3位 石井 達也/佐伯 翼
女子48kg級 第2位 池田 美優奈
第5位 藤原 花央
70kg級 第3位 岡本 優空
第42回全国高等学校柔道選手権大会 兵庫県予選
男子60kg級 優勝 藤本 昂気
73kg級 第3位 杉本 陸
81kg級 第3位 小西 雄大
無差別級 第3位 庵奥 敬也
女子48kg級 第2位 池田 美優奈

バレーボール部

2019年度神戸市内高等学校リーグ戦1部 第3位
兵庫県高等学校総合体育大会 3回戦進出
第22回兵庫県ビーチバレー高等学校選手権大会
優勝 牧 仁太・溝端拓真
準優勝 鎌谷 樹・牧 颯太
第5位 小嶋泰史・西垣 潤樹
第18回全日本ビーチバレージュニア男子選手権 ベスト32
牧 仁太・溝端拓真
兵庫県私学大会 第3位
優秀選手 平谷 凜
第6回近畿ビーチバレーボールジュニア大会
優勝 牧 仁太・溝端拓真
第5位 鎌谷 樹・牧 颯太
第74回いきいき茨城ゆめ国体
第9位 牧 仁太・溝端拓真
第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会兵庫県予選大会 第3位
優秀選手 小嶋泰史・西垣潤樹
2019年度神戸市内高等学校秋季リーグ戦1部 準優勝
第38回近畿私立高等学校バレーボール選手権大会4部リーグ 優勝
令和元年度神戸市内高等学校バレーボール新人大会 準優勝
優秀選手 小嶋泰史

剣道部

平成31年度神戸市内高校剣道大会並びに県総体神戸地区予選
女子団体試合の部 第3位
女子個人試合の部 第3位 越智朋香
令和元年度兵庫県高等学校総合体育大会 剣道競技
女子団体試合の部 第5位
優秀選手賞 有村 恋
令和元年度第57回近畿高等学校剣道大会
女子団体の部 出場
令和元年度 西宮市錬成大会
女子団体の部 第3位
令和元年度兵庫県民大会
女子団体の部 第5位
令和元年度神戸市新人大会
女子団体の部 第3位
男子個人の部 第3位 原 一馬
令和元年度北近畿交歓高校剣道大会
女子団体の部 優勝
令和元年度全国びわこ杯争奪高等学校剣道大会
女子団体の部 第5位

空手部

平成31年度神戸市高等学校春季空手道大会
男子個人形 優勝 田上 悠馬
準優勝 恒成 翔
第3位 村上 蓮太郎・橋本 颯太
男子個人組手 第3位 為本 志
令和元年度兵庫県高等学校総合体育大会空手道競技
男子個人形 準優勝 東畑 憲典(インターハイ出場)
第3位 田上 悠馬
男子団体形 優勝
男子団体組手 第3位
女子個人形 第3位 池本 日和
女子団体形 第3位
令和元年度兵庫県民体育大会空手道競技(国体予選)
少年男子形 優勝 東畑 憲典
準優勝 近藤 啓太
第3位 平井 孝法
少年男子組手 優勝 為本 志
少年女子組手 準優勝 立花 怜紀愛
第46回全国高等学校空手道選手権大会(沖縄インターハイ)
男子個人形 ベスト32 東畑 憲典
令和元年度神戸市高等学校秋季空手道大会
男子個人形 優勝 田上 悠馬
準優勝 恒成 翔
第3位 池本 日和
女子個人形 優勝
男子団体形 優勝
女子団体形 準優勝
男子団体組手 第3位/女子団体組手 第3位
令和元年度兵庫県高等学校空手道新人大会
男子個人形 優勝 田上 悠馬
第3位 村上 蓮太郎
男子個人組手軽量級 優勝 星野 竜輝
準優勝 為本 志
女子個人組手中量級 第3位 小西 風羽
男子団体形 優勝(3連覇)
女子団体形 第3位
男子団体組手 第3位/女子団体組手 第3位

ゴルフ部

令和元年度関西高等学校ゴルフ競技大会個人の部 出場
 男子個人1名・女子個人1名
 令和元年度兵庫県アマチュア選手権大会(国体予選)決勝出場
 女子個人の部1名
 IMG A世界ジュニア選手権フロリダチャレンジ 出場
 令和元年度関西高等学校・中学校ゴルフ選手権決勝大会 出場

サッカー部

令和元年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技 2回戦
 高田宮杯 JFA U-18サッカーリーグ神戸市大会3部A 第2位
 令和元年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会 ベスト16

男子バスケットボール部

令和元年兵庫県高等学校総合体育大会兼令和元年兵庫県高等学校バスケットボール競技大会 2回戦
 令和元年度兵庫県私学大会Bブロック 第2位
 令和元年度神戸市中央区大会 第2位

女子バスケットボール部

令和元年兵庫県高等学校総合体育大会兼令和元年兵庫県高等学校バスケットボール競技大会 ベスト16
 令和元年度県私学高等学校女子バスケットボール大会 Bトーナメント 優勝
 令和元年度神戸・淡路地区リーグ戦 優勝
 令和元年全国高校バスケットボール選手権大会兵庫県バスケットボール競技大会 ベスト16
 令和元年神戸市秋期大会バスケットボール大会 第3位

テニス部

令和元年度兵庫県高等学校総合体育大会テニス競技
 個人戦シングルス 池尾太平 予選大会優勝 本戦大会出場
 個人戦ダブルス 上田哲史・池尾太平ペア 予選大会優勝 本戦大会出場
 令和元年度神戸支部夏季リーグ戦/秋季リーグ戦 第3位

ハンドボール部

平成31年度神戸市高等学校春季ハンドボール大会 4部リーグ 第3位
 令和元年度兵庫県高等学校総合体育大会ハンドボール競技会 2回戦
 令和元年度神戸市高等学校秋季ハンドボール大会 4部リーグ 第1位
 令和元年度兵庫県高等学校新人ハンドボール選手権大会 1回戦

陸上競技部

第72回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会神戸地区予選会
 男子400m 第6位 神戸 翔伍
 男子800m 第5位 梅田 秀斗
 男子1500m 第5位 戸津川 輝
 男子5000m 第6位 城戸口 俊希
 男子3000mSC 第7位 大崎 聖太郎
 男子5000mW 第2位 藤原 優大
 男子棒高跳 第1位 横内 幸裕
 第72回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会
 男子400m 神戸 翔伍
 男子800m 梅田 秀斗
 男子1500m 戸津川 輝
 男子5000m 城戸口 俊希・白玖 侑也・濱崎 裕斗
 男子3000mSC 大崎 聖太郎
 男子5000mW 藤原 優大
 男子棒高跳 横内 幸裕
 第71回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会神戸地区予選会
 男子5000m 第3位 黒葛野 瑞希
 男子5000mW 第1位 倉増 崇充
 男子砲丸投 第3位 菅 真尋
 男子400m 第1位 神戸 翔伍
 男子5000mW 第3位 上田 陸丘
 男子棒高跳 第1位 横内 幸裕
 女子3000m 第3位 向谷 楓香
 第71回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会
 男子5000mW 第5位 倉増 崇充
 男子400m 第7位 神戸 翔伍
 第68回神戸市総合体育大会(陸上競技の部)
 男子5000m 第3位 戸津川 輝

第71回神戸地区高等学校陸上競技対校選手権大会

男子400m 第3位 神戸 翔伍
 男子5000mW 第1位 藤原 優大
 男子3000mSC 第3位 大崎 聖太郎
 男子棒高跳 第1位 横内 幸裕

第74回兵庫県高等学校駅伝競走大会神戸地区予選会男子 第2位
 (大崎/戸津川/濱崎/白玖/江田/東原/黒葛野)

第63回兵庫県高等学校総合体育大会

男子第74回兵庫県高等学校駅伝競走大会 第9位
 (濱崎/江田/城戸口/黒葛野/大崎/白玖/戸津川)

男子第70回近畿高等学校駅伝競走大会 第25位

(濱崎/戸津川/大崎/城戸口/江田/白玖/黒葛野)

射撃部

令和元年度兵庫県高等学校総合体育大会ライフル射撃競技
 ビームライフル男子 団体 第1位 本邑 拓登/中川 裕一郎/高島 空
 ビームライフル男子 個人 第1位 本邑 拓登
 第2位 中川 裕一郎
 第4位 高島 空

令和元年度近畿高等学校春季ライフル射撃選手権大会

ビームライフル男子 個人 第2位 本邑 拓登

第7位 中川 裕一郎

エアライフル男子 個人 第2位 本邑 拓登

第57回全国高等学校ライフル射撃選手権大会出場

男子団体 第11位 本邑 拓登/中川 裕一郎/高島 空

男子個人 第18位 本邑 拓登

第37位 中川 裕一郎

第83位 高島 空

女子個人 第106位 小林 悠風

令和元年度近畿高等学校秋季ライフル射撃選手権大会選考会

ビームライフル男子 個人 第1位 高島 空

個人 第3位 今田 奏音

個人 第4位 北川 彪牙

ビームピストル男子 個人 第4位 井上 颯人

ビームライフル女子 個人 第1位 小林 悠風

令和元年度近畿高等学校秋季ライフル射撃選手権大会

ビームライフル男子 個人 第2位 高島 空

第10位 北川 彪牙

第13位 今田 奏音

ビームピストル男子 個人 第7位 井上 颯人

ビームライフル女子 個人 第3位 小林 悠風

卓球部

第74回国民体育大会卓球競技兵庫県代表選手選考会
 神戸地区予選ブロック 準優勝 西田 遥貴

観光ガイド部

新神戸の「神戸ビーブ館」とのコラボによる外国人観光客向け神戸ビーブ説明用リーフレット完成
 北野町異人館界隈にて外国人観光客相手にインタビュー訓練(英語・スペイン語)

鉄道研究部

そごう神戸店「三宮鉄道フェスティバル2019」出演
 テレビ大阪「鉄道博2020」(大阪ビジネスパーク 円形ホールにて)出演

サイエンス部

文化祭展示・実験演示 青少年のための科学の祭典で、実験演示(奨励賞受賞)

書道部

第61回大東文化大学全国書道展

金賞 塩山 竜一郎/古味 義晶/溝口 悠太

第66回日本学書展

準特選 溝口 悠太

入選 塩山 竜一郎/古味 義晶

第43回兵庫県高等学校総合文化祭書道展

特選 古味 義晶/入選 塩山 竜一郎/溝口 悠太

兵庫県私学連合会 第52回私学の書展

入選 塩山 竜一郎/古味 義晶/溝口 悠太/岡 翼

令和元年「税に関する高校生の作文」入選者!!

税金が生活を支えている

1年3組 堀 光雅



もし、税金が国民健康保険制度に多く割当てされていなければ、病院に行った時に、たくさんのお金を請求されてしまいます。そうなれば、具合が悪くなっても病院に行くことをためらってしまい、病気を治すこともできなくなってしまいます。国民健康保険制度に、多くの税金と国や自治体の税金を割り当てられています。日本が国をあげて医療保険に力を入れることによって病気とかになってしまっても、無料で救急車が連れていってくれる、手厚い医療を安価な金額で受けることができます。実際にかかった医療費の7割も保険が負担してくれます。70歳以上の高齢者に関しては9割が保険によって賄われています。

以前、テレビで見たことがあります。アメリカでは救急車は有料で手術費用はとんでもなく高い金額でした。民間の保険を使用しても高い金額でさらに驚きました。

自分の祖父が、今年3月に他界しました。10月から入院して約5ヶ月間お世話になっていました。毎月、届く医療明細について祖母と話したことがあります。もっと驚くほど請求されるのかと思っていたら、10万円以上助けてくれる高額医療制度・食事代負担・障害者控除などで祖母が支払いきける金額まで下がっていたと言っていました。これも祖父が税金を支払い続けていたからです。その控除のおかげで祖父も満足いく医療を受けて最後を迎えられたと思います。

一人一人の税金は少ないかもしれませんが、しかし、一人一人がしっかりと納税することで、みんなで支え合って安心して暮らせる国を造っているのだと思います。他にも税金を納めることで、医療以外の様々な公的サービスを受けることができます。

今年の10月から消費税が10パーセントに引き上げられます。確かに、今の生活が豊かか、と聞かれたら大半の人は「そうでもない」と答えると思います。脱税や納税をしていない人もいます。しかし、税金を支払うことにより私たちが安心して暮らしていけ、公的サービスを受けることができるのが現実です。

納税は、国民の三大義務の一つです。自分も社会人になった時、祖父みたいにしっかりと納税していきたいと思っています。自分の大切な人たちと助け合い、支えあって安心して暮らしていける日本を皆で造っているんだということを忘れずに、義務だからではなくサービスの代償としての納税だということを忘れないようにしたいです。

税金で助けられる命

1年8組 林崎 美月



2003年9月17日。これは私の誕生日です。体重は1394グラム。切迫早産による帝王切開で予定より2ヶ月も早く生まれました。そのため、NICUと呼ばれる新生児特定集中治療室の中で2ヶ月間を過ごしました。

母の出産は、出産中にいつ大出血を起こしてもおかしくない緊急性の高い帝王切開だったので、産む側の母も産まれてくる側の私も命がけで、長い時間と高度な技術が必要となる出産でした。出産と同時に小児科の医師が連携、治療にあたってくれたと聞いています。その時の出産費、入院費用総額は正産者と比較してもかなりの金額です。そして、私の場合はそれに加え、NICUでのケア期間が必要とされ、高度な治療を受けていたため、2ヶ月間で数百万円もの費用がかかったそうです。更に、出産後のワクチン接種が1回16万円、私の場合は4回で64万円と、全体でおよそ1000万円ものお金が必要であることとなります。1000万円を一気に出費するとなると、赤ちゃん以外の家族に支障をきたしてしまうことは否めません。しかし、この負担は医療保険により軽減することができます。私は超低出生体重児(1500グラム未満)だったため、NICUでの治療費、ワクチン代、共に大部分が公的医療で賄われ、自分たちにかかる負担が軽くなったと母は言います。

医療保険で私たちに支払われるお金は、国民から徴収している税の中の一部なのです。国が国民から徴収している税は、政治家の収入というイメージが強いと思います。しかし、私たちのように超低出生体重児で生まれてくる子供を陰ながら助け、家族とその生活を支える役割も果たしているのです。

日本の社会は、近年高齢化が進んでいます。子供の数が減少している。つまり、生まれてくる赤ちゃんの数が減少しているということです。私は、その数少ない命を「お金が足りないから」という理由で手放してほしくないです。昔であれば命を落とす確率が高かった症例にも関わらず、高度な技術を要する手術やNICUの普及によって命を落とすことなく、今私は生きています。私も税金を支払うという形で、一人でも多くの赤ちゃんの命を救い、その家族が安心して生活できるようサポートしていきたいと思っています。

